

平成15年11月吉日

所属長殿
関係各位

全国協同（バズ）学習研究会研究者代表
名古屋大学大学院教授 梶田正巳
全国協同（バズ）学習研究会会長
愛知県春日井市立南城中学校長 長縄秀孝
第35回全国協同（バズ）学習研究大会会長
愛知県犬山市立楽田小学校長 有本高尉

第35回 全国協同（バズ）学習研究大会のご案内

深秋の候、皆様には益々ご清栄のことと拝察いたします。

この度、第35回全国協同（バズ）学習研究大会を下記のとおり開催いたすことになりました。

本研究会は、本年度、より自由で多様な交流を可能にすることを旨として「全国協同学習研究会」と名称を変更しましたが、研究実践内容は、40数年間で培ってきたバズ学習の「教育の基盤は信頼に支えられた人間関係にあり」という教育理念の基に開発された教育指導技術であります。この研究実践は、教育の今日的課題である「生きる力」を育むために積極的に対応できるものと確信しております。

本年度は、「分かる喜び・考える大切さを感じ、ともに学ぶ城山っ子」に取り組んでみえる愛知県犬山市の楽田小学校の授業を参観させていただくと共に、全国各地における実践と交流し研究を深めたいと思います。

全国各界・各地から多数の皆様のご参加をいただきますようご案内申し上げます。

記

1 日 時 平成16年1月29日（木） 13:00～16:40

2 会 場 愛知県犬山市立楽田小学校

3 主 催 愛知県犬山市立楽田小学校 全国協同（バズ）学習研究会

4 後 援 愛知県教育委員会 犬山市教育委員会

5 大会主題 「分かる喜び・考える大切さを感じ、ともに学ぶ協同学習」

6 日 程

12:30 13:00 13:30 14:15 14:30 16:00 16:10 16:40

受付	開会行事	授業公開	移動	分科会	移動	閉会行事
----	------	------	----	-----	----	------

(1) 開会行事

〈あいさつ〉

第35回全国協同（バズ）学習研究大会会長 愛知県犬山市立楽田小学校長	有本高尉
全国協同（バズ）学習研究会会長 愛知県春日井市立南城中学校長	長縄秀孝
全国協同（バズ）学習研究会研究者代表 名古屋大学大学院教授	梶田正巳

(2) 閉会行事

① 分科会報告 各分科会司会者

② 大会のまとめ 中京大学教授 杉江修治

(3) 分科会
 (第1分科会) 小学校低学年

発表主題	提案者	助言者
ともに学ぶ楽しさを味わわせ、一人一人を生かす少人数指導	神谷美紀子 (愛知県刈谷市立富士松北小学校)	鹿内信善 (北海道教育大学)
少人数学習における学び合いの工夫 — 九九の学習を通して —	稲垣江美 (愛知県犬山市立桑田小学校)	石田裕久 (南山大学)
		加地健 (犬山市教育委員会)

(第2分科会) 小学校高学年

「協同」の原理をもとにした授業実践 — 総合的な学習の取り組みから —	百合良二 (兵庫県三田市立広野小学校)	関田一彦 (創価大学)
TT授業における学び合いの工夫 — 理科のTT授業を通して —	野口和敬 (愛知県犬山市立桑田小学校)	市川千秋 (三重大学)
学校経営具現化のための算数指導	荒木正志 (東京都練馬区立練馬第三小学校)	加藤孝史 (元全国バズ学習研究会長)

(第3分科会) 中学校

学び方を身につけ、課題に向かって主体的に取り組む生徒の育成	岸栄二 (岐阜県可児市立中部中学校)	安永悟 (久留米大学)
学習集団づくりを基盤にした授業改善の取り組み — グループ学習と討論を取り入れた社会科の授業 —	高木潔 (愛知県犬山市立犬山中学校)	伊藤篤 (神戸大学)
		長谷川貢一 (東京都杉並区立阿佐ヶ谷中学校長)
		後藤東一 (岐阜県土岐市立土岐津中学校長)

7 参加者対象 小学校・中学校の校長及び教員 大学教職員・学生
 教育に関係している方・教育に関心のある方

8 参加申し込み 平成16年1月16日までに、FAX、郵送またはメールで下記へお申し込み下さい。当日参加も結構です。

【申し込み先】

第35回全国協同(バズ)学習研究大会 事務局長



9 参加費(資料代) 1,000円
 当日、受付で納入してください。

----- キ リ ト リ 線 -----

第35回 全国協同(バズ)学習研究大会参加申し込み票

所属	氏名	所属所在地	電話
参加分科会	第 分科会		

第35回全国協同（バス）学習研究大会の運営について

1 全体及び研究協議会の流れ

開会行事	13:00～13:30
授業公開	13:30～14:15
移動	14:15～14:30
分科会	14:30～16:00
移動	16:00～16:10
閉会行事	16:10～16:40

※ 懇親会 18:30～20:00

〈提案者2名〉

分科会・協議 (例)	
紹介	2分
実践報告	20分
研究協議	15分
指導助言	15分

〈提案者3名〉

紹介	2分
実践報告	15分
研究協議	10分
指導助言	10分

2 司会者の方へ

(1) 助言者、提案者、記録者の紹介をお願いします。

(2) 研究協議の進め方について

- ・ 実践発表時間は、15～20分程度をお願いします。
- ・ 研究協議では、必要に応じて助言者の方々にも発言（指導）をお願いしてください。
- ・ 小集団を活用して協議を進めていただくとよいかと思えます。
- ・ 前後半の間に、5分程度の休憩をとってください。
- ・ 時間が少ないので、提案後に一括協議でも可。

(3) 司会者は、分科会の全体な運営もお願いします。

3 記録者の方へ

(1) 協議・助言記録用紙に、質疑・応答・ご指導等を記入してください。（実践内容は、記録していただかなくても結構です。）

(2) なぐり書きで結構ですから、協議会終了後に事務扱い（田川）にお渡し下さい。

4 提案者の方へ

(1) 補助資料は、協議会場の入り口の机上においてください。

5 助言者の方へ

(1) 助言の時間が十分にとれません。協議の中でも指導していただければ有り難いです。

第35回協同（バス）学習研究大会提案者等一覧表

分科会	提案者	司会者	記録	助言者
1	神谷美紀子 稲垣江美	澤木哲夫	後藤三根子	鹿内信善 石田裕久 加地健
2	百合良二 野口和敬 荒木正志	前田重信	三好恵美子	関田一彦 市川千秋 加藤孝史
3	岸栄二 高木潔	松浦茂樹	鈴木努	安永悟 伊藤篤 長谷川貢 後藤東一

児童学び合う「協同学習」 犬山・楽田小 全国研究大会



一クラスの児童らが小グループに分かれて互いに学び合う「協同学習」の全国研究大会が二十九日、犬山市楽田小学校で

開かれ、県内外から二百三十人の教師が集まった。写真。
教師が一方的に教えるのではなく、三十五人程

度のグループで一緒に問題を解いたり、その科目を得意とする子どもが苦手な子どもに教える手法。近年はよく少人数授業で取り入れられている。

この日は、協同学習による算数、理科の授業を公開。児童が自分たちで問題を作り、グループごとに解き合う様子を各教師が見学した。

その後、小学校低学年、高学年、中学校の分科会に分かれ、教師が研究成果を発表。
「グループで学ぶことにより、順番やルールを守る意識も身に付いた」「習熟度の異なる児童を組ませることで、全体のレベルが上がっている」などの報告があった。
一方で「グループを組む子どもとの人間関係が難しい」「習熟度別に分けることも時には必要」などとの報告もあり、活発に意見が交わされた。

(平岩 勇司)